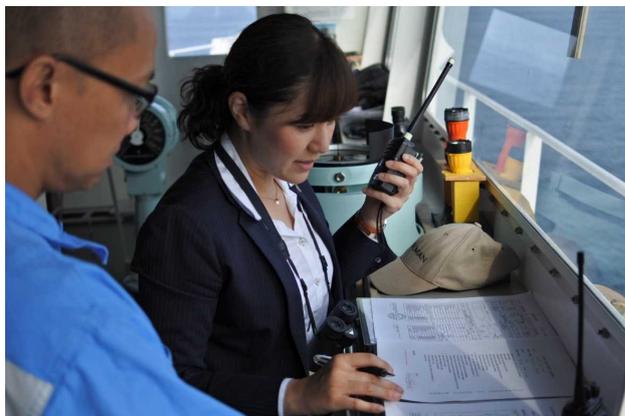


内海水先区水先人会（兵庫県神戸市）

船長に安全運航を提案します

固有の特徴を持つ 内海水先区に 精通した スペシャリスト



乗船したら、まず周囲の状況を確認し、その後船長と打ち合わせをします。喫水と速力、NOTICE（SEA SPEED から HARBOR SPEED に落とすのに必要な時間）などを確認し、到着予定時間を伝えます。

内海水先区の特徴

自然環境と漁業資源に恵まれた海上交通の要衝

内海水先区は、東西に約240マイル、南北10～30マイルにわたる日本最大の広域水先区で、水先人は51の港で業務を行っています。1隻の平均業務時間は5.8時間で、約150名の水先人が男女の区別なく業務に当たっています。

内海水先区の特徴は、潮流と漁業にあります。最も有名なのは、来島海峡ではないでしょうか。最大流速は約10ノットとなり、世界で唯一、潮の流れによって通航帯が変わる海域です。漁業は、二そう曳き、コマセ網、流し網、イカ巢、カニ刺し網など多岐にわたります。

内海水先区は他の水先区と比べて航行業務が多く、長時間に及ぶ業務もあります。10時間を超える業務の場合、2人の水先人が交代しながら業務を行います。



仕事を始める前と後は、船長と握手をして挨拶をします。業務開始時は、やる気や「任せて下さい」という意思表示で、しっかりと握手します。業務終了後、船長に笑顔で挨拶してもらえれば、その業務は上手くいったといえます。

職場環境

体調管理が重要

内海水先区では、水先人は順番を決めて交代しながら業務に当たり、基本的に24日就業+6連休を繰り返します。就業日では、1業務が終わると16時間の休養があり、次の業務に当たるまでは待機となります。

朝の入港にあわせて夜中に乗船することもあれば、夜間に港外に停泊して船内に泊まることもあります。女性だからといって業務に制限はなく、男女同じ業務を行っています。

そのため体調管理が非常に重要となりますが、休養時間の確保や特別休暇、連続業務の制限など、会の規則で様々な安全対策を講じています。

内海水先区では、現在4名の女性水先人が活躍しています。



小学生向けの子ども水先人体験。内海水先区では広報活動にも力を入れており、小学生の体験イベントや中学生の職業体験など、各種イベントを実施しています。

水先人会の概要

内海水先区水先人会

代表者：末岡 民行（会長）
所在地：兵庫県神戸市中央区波止場町5-4
中突堤中央ビル4F
事業内容：水先業
会員数：148名
（令和3年4月時点）

URL：<https://www.ispa.or.jp/>

